平居 ゆかり 議員
無会派

問 まちづくり協議会立ち上げへ
答 機運の醸成を図る

○衰退する自治会を守ることを念頭に、地域コミュニティのあり方と協働について、以下を問う。

問 デジタル回覧板等、地域 DX に対する考えは。

答 市民生活部長 モデル地区などを設定し、自治会活動継続、役員担い手不足の解消の実験をしている自治体を注視していく。

問 自治会加入促進への具体的取り組みは。

答 加入促進ガイドブックやチラシを作成し活用を促したり、地域づくりと協働の講演会を開催している。

問 不動産協会や宅建協会との、自治会加入促進の協定は。

答 協定締結のメリットや有効性について調査研究する。

問 「自治基本条例」を制定すべきでは。

答 講演会などを開催し、市民が自ら参加しようという機運の醸成を図る。

問 まちづくり協議会の立ち上げについての見解は。

答 既存のコミュニティ推進協議会の事業の精査を行いながら、目的や活動が時代のニーズに合っているか模索が必要。

問 まちづくりコーディネーター発掘や育成について、担当職員はどう学んでいるか。

答 県主催の「地域づくりフォーラム」に参加し、基礎的な知識の習得を図っている。

問 市民への呼びかけは。

答 「やとみっけベース」が中間支援機能を有し、相談対応や交流ができ、活動の継続と拡大の場となる。「地域づくり補助金活用団体の交流会」や「まちづくり講座」などを開催し、人材を発掘・育成していく。

問 自治会等への支援を
答 協働を通じて取組を進める

問 自治会あってこその支援である「防犯設備整備費補助金」の予算額は適正か。

答 市民生活部長 4 自治会から補助申請があり、補助額を交付できたことから適正と考える。

問 防犯カメラに維持費がかかることの理解を確認しているか。

答 確認している。

問 市ホームページ、防犯のページの見直しを。

答 より分かりやすいものへ研究する。

問 社会資本の老朽化への危機から地域との協働をどう捉えているか。

答 市長 地域との協働を通じて解決に向けた取組を進めている。